土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	二級河川　御手洗川水系　御手洗川支川（６７１６）　通常砂防事業に伴う測量設計業務
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

ボーリング名	Bor.No.3	調査位置	広島県廿日市市宮内地内			北緯	34° 20’ 10.3310″
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所			調査期間	令和5年 9月14日～ 令和5年 9月14日	東経	132° 18’ 08.5402″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 85.16m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	地盤勾配	38° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦DO-D型
総削孔長	6.00m								エンジン	ヤンマー TF-90M	ポンプ	東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度—N値図	N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
	84.76	0.40	シルト質砂			黒茶			表土に該当。植物片を混入する砂質土で、表層0.1mは植物片主体となる。															
1			強風化花崗岩			褐灰			強風化花崗岩に該当。砂状～シルト状コアとして採取。岩組織はほとんど残っておらず、指圧によって容易にマサ状に崩れる。節理も不明瞭。岩級区分はDL級で土砂区分は土砂に相当する。			12	1.15 1.45	3	4	5	12/300						
2												29	2.15 2.45	7	10	12	29/300						
3	82.16	3.00	風化花崗岩			褐灰			風化花崗岩に該当。粗砂～砂礫状のマサ土状コアとして採取。岩組織はほとんど残っていない。岩級区分はDH級で土軟硬区分は軟岩Ⅰ			50/3上	3.15 3.42	14	19	17 70	50/270	270					
4	80.76	4.40										50/4上	4.15 4.39	17	23	10 40	50/240	240					
5			風化花崗岩			褐灰～黄褐灰			風化花崗岩に該当。砂礫状コアとして採取。岩組織は所々に残っているが、節理は不明瞭。指圧によってマサ土状に崩れる。岩級区分はDH級で土軟硬区分は軟岩Ⅰに相当する。			50/5上	5.15 5.33	18	32 80		50/180	180					
6	79.16	6.00										50/6上	6.15 6.27	32	18 20		50/120	120					9/14
7																							
8																							
9																							
10																							
11																							